

いつでも全力！ たくましい子どもを育てたい

1 水泳クラブで練習をがんばった子どもたちに思うこと

今年、4年生から6年生までの8名の児童が水泳クラブに加入してくれました。教員がたくましい子どもを育てたいという思いから希望者を募って、7月から練習を始めました。より速く泳げるようにしてあげたい、つらくても苦しくても、ひたすら練習をがんばる意欲をそだててあげたい。この気持ちに、子どもたちは応えて誰一人やめることもなく、全力でがんばってくれました。水泳活動を通して、自分を信じ、泳ぎ続けた子どもたちに、最大の賛辞を贈ります。特に、最高学年である6年生は、鍛え続けた身体、考え続けた泳ぎの形。力強い蹴り足と手のかきはリズムミカルに連動し、滑るように泳げるようになっています。引き締まった身体が、全てを語ってくれています。下級生へのよきお手本となりました。

2 西吉野小学校水泳記録会を開催するめあて

体育的活動の中で、水泳指導は、水難事故から身を守るとともに、体力や忍耐力の育成にとって、とても重要な教育活動です。正しい泳法を身につけることで、自らの生命を守ることができるようになります。

また、生涯にわたって、健康であり続けるための、基礎作りにもなります。特に、高学年で鍛えた身体は、スポーツを楽しむために必要とする体力となります。記録会は、水泳指導で、子どもたちが獲得した身体能力を測定するために、開催しています。



3 各種水泳記録会に参加する子どもたちに思うこと

水泳クラブに加入した子どもたちが、五條市小学校水泳記録会や奈良県主催の水泳記録会に選手として、出場してくれました。めあてをもって、何かに取り組む意欲は、子どもにとって大切な資質です。自分で自分の限界を決めない姿勢こそが、たくましい子どもの育成にとって、大切な視点だと思います。あきらめしないで頑張る子どもを育てていきます。

